

重度障がい児支援　花色

vol.64
2026.9.24

NEWS LETTER



♬ろうそくだーせぇー♬



北海道の七夕は本州の一か月遅れ“８月７日”です。明治時代にカレンダーが変わったときに、旧暦の「7月7日」にあたる日を残したという説も有ります。個人的には、北海道は数年前までは“7月”は肌寒かったからひと月遅らせたのかな？と思ったりもします。

この七夕。北海道にはちょっと特別な行事「ローソクだーせー」があります。この歴史は古く江戸時代後期からあり、お祭りの“山車”の灯篭をかざるローソクをこども達が集めたという由来があります。さすがに現代では“ローソク”ではなく“おかし”をもらってまわるちょっとしたお楽しみ行事です。

『♪ローソクだせー出せよ。出さないとかっちゃく（ひっかく）ぞ。おまけに食いつくぞぉ♫』と玄関先で大声で歌をうたい、大人は『食いつかれたら大変、お菓子をあげるので勘弁してください。』とローソクのかわりにお菓子をだしてくれます。海外のハロウィンにも似た行事です。

さて、夏休み中の花色。ご近所さんを「ローソクだーせー」とまわる事にしました。
何せ今年は30度超えの灼熱の暑さ。「どうする・・？」と心配な声もありましたが、「15分やそこら大丈夫！」と何の根拠もなく、おくりだし陰で見守る齊藤です。
すると聞こえてきます。「ローソクだぁせー、だせよ♫」スタッフと共にこども達は、1軒目より2軒目。2軒目より3軒目。どんどん表情が明るくなり、ご近所さんをしっかり見て、一緒に歌っているようです。しかも、「おやつくれる！？」とワクワクして見えます。
ご近所さんも「イヤ～、かわいいね！。」「一生懸命、伝えてくれているね。」と笑顔で受け入れ楽しんでくれました。知らないお家。初めての人。それでもちゃんと交流ができました。
地域の皆さんのお陰で、七夕にまた一つ成長するこども達でした。
「ご近所さん、ご協力ありがとうございます！来年もどうぞよろしくお願いします。」



















階楽園さん







夏になると、仁木町の“手のひらサイズの大きなプルーン”を思い出します。甘い果汁が滴る、そのプルーンが食べたくて、仁木に入ってすぐのフルーツ農園＜階楽園＞さんに行きました。プルーンをまず手にして、他の果物をみていると「このぶどう食べて行って！おいしいよ！」と、次から次へと試食のぶどうが出てきます。
すると、「お姉さんテレビに出ていたでしょう！ほら、がんばってる人！」と突然声をかけて頂きました。驚きと共に「あ・・前に。」と言いかけた時に、「ちょっと待って、私からプレゼント！」と、高級なぶどうを化粧箱に沢山つめて下さいました。
後日、花色に戻りこどもたちとスタッフみんなで美味しくいただきました。ぶどうの汁をおいしそうに飲み「もうひとロ！」と口をあけ催促するこども達の姿がありました。
階楽園さん、テレビ放送を覚えていてくださり有り難うございます。
小さな活動ですが、こどもたちの発達支援を今後も丁寧に向き合っていきたいと思います。素敵なプレゼント心よりお礼申し上げます。
「甘くておいしいブドウとプルーン、ご馳走様でした！」

ありがとう

もっともっと

能登スイカ
おくってくれて
アリガトウ！











今年の夏も能登スイカ届きました！





スイカ割りの
あとは、
お昼寝～





夏はＢＢＱ









がんばってね～





薬剤師さん
ですか～？





なおちゃん？先生？
あそぼうね～！

ぼく、おつかい
たのまれまして‥

きゅうりの浅漬けを
夏休みにつくるんだ！

おこさまの笑顔を
引き出せるように
がんばります！



保育士のせきぐちなおです。
来年4月～フルで花色の発達支援
スタッフに入ります。
しばらくは不定期勤務ですが
よろしくお願いします。







［公明党］
参議院議員

横山信一さん
皆川ゆきたけさん

旭川市議会議員
［公明党］



9月10日（木） 参議院議員（公明党）横山信一さん、旭川市議会議員（公明党）皆川ゆきたけさんが来訪されました。横山さんは北海道ご出身で、ご子息の大病をきっかけに治療薬について海外まで学びに行かれた経験をお持ちの方です。
当日は、こども達がつくる「花色ラーメン」のお客様役となっていただき、“医療的ケア児・重症心身障がい児”の日常の様子、18歳の壁の課題、福祉サービスにおける困りごと等、幅広いお話を丁寧に聞いていただきました。
その後、東京に戻られてからは、超党派の「医療的ケア児者支援議員連盟」に所属してくださり、支援体制づくりにも力を注いでくださっています。
横山さん、皆川さん、温かいご支援とご理解に心より感謝申し上げます。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。